

保健・医療・福祉グループ

| | | |
|--|--|--|
| <p>課題テーマ</p> | <p>地域における支え合いを実現するために</p> | |
| <p>提案事業・施策の名称</p> | <p>地域と地域を繋ぐデマンド型コミュニティ交通の導入事業</p> | |
| <p>提案事業・施策の内容</p> | | <p>提案事業・施策の取り組みの図解（イメージ）</p> |
| <p>【事業内容】・コミュニティ拠点であるサロンでは将来的に、利用者の調整を行い、デマンド型コミュニティ交通サービス（乗合タクシー等）を提供する ・利用料金は低額とする（定額方式か距離別方式）</p> <p>【参加者】・コミュニティ交通への支援：八雲町 ・企画、運営：民間企業、NPO 法人、町内会、社会福祉協議会等 ・運行：タクシー会社等</p> <p>【設置内容】・八雲町が助成金等で運用を支援し、将来的にコミュニティ拠点（サロン）が予約調整業務を行い、受託業者が運行を行う（料金徴収含む）</p> | | <p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急速な少子高齢化による人口構成の変化や核家族化を背景に、地域の相互扶助機能が低下している ・高齢になり自動車免許を持ってない、または自主返納するなど、公共交通機関以外の区間を移動できない人が今後増える ・車が無いと家から出ることができない ・高齢ドライバーの事故が増えているが、自主返納を促せない ・車が無いと買い物、医療機関に行くことができない ・14 年後に新幹線が開業するが、新幹線駅と他の公共交通機関を結ぶ 2 次交通が決まっていない <p>【問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化となり自動車を持っていない人、持てない人が外に出ていく手段がない。 ・車に乗せてくれる人がいない（気軽に頼めない） ・公共交通機関と家をつなぐ手段がタクシーしかなく、高齢者や障がいのある方が孤立する ・八雲高校の生徒の通学に合う時間帯での公共交通機関がない <p>【問題の原因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の繋がりの希薄化 ・公共交通機関（JR、バス等）の間をつなぐ安価な交通手段がない <p>【資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス ・既存タクシー会社の利用 <p>【イメージ図】</p> |
| <p>具体的な目標</p> | <p>期待される効果</p> | |
| <p>・高齢者や障がいのある方が外に出る機会を増やすために、デマンド型コミュニティ交通の整備を行う</p> | <p>・高齢者を 1 人にしない ・買い物難民の解消 ・高齢者の活動量が増え、健やかな生活ができる ・人の交流が増え、地域力を高める ・町内で買い物をする人が増え、経済活動につながる ・病院の受診機会が増える ・重症化を防ぐことで、医療費の低下を促す</p> | |
| <p>住民・地域の役割</p> | <p>町（行政）の役割</p> | |
| <p>・高齢者の利用率を上げる ・利用促進のための PR 活動</p> | <p>・デマンド型コミュニティ交通の整備 ・運行会社への支援（経費（燃料費）の助成</p> | |